

吉川市の主要課題

第3章

- 第1節 土地利用
- 第2節 都市施設
- 第3節 都市環境
- 第4節 都市防災
- 第5節 都市景観

都市づくりに関する本市の現況や市民意向を踏まえるとともに、社会潮流や国、県の方針等を踏まえ、「土地利用」「都市施設」「都市環境」「都市防災」「都市景観」の5つの視点から、都市づくりに関する主要な課題等を整理します。

第1節 土地利用

全国的に人口減少、少子高齢化が進行しており、人口増を前提とした都市づくりから、持続可能な安定・成熟した都市づくりが求められています。また、徒歩や公共交通を中心に暮らせるコンパクトシティの形成が求められています。

1 市街地

市街地においては、住み続けられる良好な住宅地と都市機能が集積したコンパクトな市街地の形成、また、防災性の向上が求められています。

- 良好な市街地を形成するための適正な土地利用の誘導
- 面的整備が行われていない地区の住環境の改善と防災性の向上
- 面的整備が行われている地区の良好な住宅地の維持・向上
- 吉川駅、吉川美南駅周辺地区における都市機能の充実
- 工業系土地利用における工業用地の不足
- 吉川美南駅東口周辺地区における魅力ある市街地の形成
- 空き家・空き地等の増加による都市のスポンジ化

2 農地・集落地

農地・集落地においては、集落地の生活環境の向上と地域コミュニティの維持が求められています。また、農地については、農産物の生産機能のほか、保水・遊水機能や環境保全機能、景観形成機能等、多面的で重要な機能を有しているため、農業の振興と営農環境の向上による農地の保全や活用を図る必要があります。

- 集落地における生活環境の改善
- 人口減少等による地域活力の低下と空き家の増加
- 集団的な優良農地の保全
- 農業従事者の担い手不足等による農業の衰退化
- 農地の無秩序な宅地化と耕作放棄地等の発生の抑制
- 交通利便性を活かした計画的な土地利用の検討
- 河川の洪水時を考慮した土地利用

第2節 都市施設

1 道路・公共交通

都市間及び都市内の道路交通の円滑化を図るため、幹線道路の整備と利便性の高い道路網の形成が求められています。

また、環境にやさしい徒歩や自転車、公共交通等による移動の促進を図るため、鉄道駅や生活関連施設、公共公益施設等を歩道や自転車道、公共交通等で結び、誰もが安全で快適に、また、自由に移動することができる交通ネットワークの形成と移動手段の確保を図ることが求められています。

さらに、道路や橋りょうなどの既存ストックの更新・長寿命化等を図る必要があります。

【道路】

- 周辺都市の道路交通計画とも連携した都市間交通網の形成
- 市内の主要施設や地域間を連絡する都市内交通網の形成
- 東西方向・南北方向の移動を強化する幹線道路
- 江戸川や中川を渡河する橋りょう付近の交通渋滞
- 未整備の都市計画道路
- 市街地・集落地における幅員の狭い生活道路
- 道路・橋りょうの老朽化と維持管理

【幹線道路の主要な課題】

主要な課題	対象区間（箇所）
都市間連携の強化	三郷市の（都）新和吉川線の本市への延伸構想に対する構想道路の検討 三郷市境の（都）三郷流山線の東埼玉道路方面までの延伸構想の検討 [三郷市も延伸構想の位置付け有]
地域間連携の強化	旭地区の東西を連絡する道路 吉川美南駅と市役所方面の連絡道路 吉川駅と三輪野江方面の連絡道路 吉川美南駅と三輪野江方面の連絡道路
交通渋滞の緩和	野田橋・玉葉橋・新川橋・吉川橋・吉越橋付近 （県）川藤野田線と（県）葛飾吉川松伏線の交差部
交通流動の円滑化	（都）越谷総合公園川藤線と（県）川藤野田線のクランク解消 （都）越谷吉川線と（県）三郷松伏線の円滑な接続
交通量が多い道路	玉葉橋付近から新川橋付近を連絡する東西方向の道路 （都）三郷吉川線と玉葉橋・吉越橋付近を連絡する道路 三郷市と松伏町を連絡する南北方向の道路
バス交通の新規路線	吉川美南駅から市役所方面までの区間
未整備都市計画道路	国道：（都）東埼玉道路 4車線道路：（都）浦和野田線・（都）越谷吉川線・（都）三郷吉川線・ （都）三郷流山線 2車線道路：（都）木売線・（都）越谷総合公園川藤線

【歩道・自転車道等】

- 鉄道駅や生活関連施設、公共公益施設等を連絡する歩行系・自転車系ネットワークの形成
- バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した歩行空間の確保
- 自転車利用者の増加に対応した自転車通行空間の確保
- 歩行者と自転車利用者の安全確保

【公共交通】

- 鉄道駅や生活関連施設、公共公益施設等を連絡する公共交通ネットワークの形成
- バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した利用環境の向上
- 鉄道における運行時間の延長等の輸送力の強化
- 事業採算性の悪化や運転者不足等によるバス運行の便数減少や路線廃止
- 誰でも安全で自由に移動するための新たな移動手段の確保

2 公園・緑地

公園や緑地については、本市の魅力と価値を高めるとともに、市民生活にやすらぎと
うおいをもたらす重要な都市施設であることから、適切な維持管理と市民ニーズの変
化に対応した公園施設等の充実が求められています。また、開設から長年経過している
公園は、既存の施設や地域の特色を生かした再整備が求められています。

- バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した利用環境の向上
- 幼児・児童向け遊具の他、大人向け健康遊具、障がい者も利用できる遊具等の充実
- 遊具等の公園施設の安全管理と老朽化
- 地域住民の憩いの場が不足している地域
- 河川敷等の公共空間の有効活用
- 市街地内の緑化と生産緑地地区の維持・保全
- スポーツ施設の充実



美南中央公園



永田公園

第3節 都市環境

1 自然環境

本市の特色である河川や水路等の水辺環境と優良な農地等については、本市の貴重な自然的な資源であることから、保全が求められています。また、多種多様な生物と共生する環境形成が求められています。

- 河川・水路等における自然環境の保全
- 農地と屋敷林・社寺林等が一体となった田園環境の保全
- 生物多様性の保全

2 生活環境

快適で衛生的な生活を送るための水環境や大気環境等の生活環境の保全・形成と市街地の工業系土地利用における周辺の住環境への配慮が求められています。

また、犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせる環境整備が求められています。

さらに、生活環境等に影響を及ぼしている管理不全の空き家・空き地・事業場等への対応が求められています。

- 公共下水道の整備と接続の促進
- 市街化調整区域における合併処理浄化槽等による適正な排水処理
- 工場等における公害の発生防止
- 緑豊かな市街地環境の形成
- 防犯・交通安全に配慮した都市環境の形成
- 空き家・空き地等の発生の抑制と適正管理の促進

3 地球環境

都市づくりにおいても「2050年カーボンニュートラル 脱炭素社会の実現」に向けて、省エネルギー化の推進や再生可能エネルギーと実用化が期待される次世代エネルギーの利活用、資源循環型社会の構築等の多様な取り組みを行う必要があります。

- 省エネルギー化の普及促進
- 再生可能エネルギーの普及促進
- 廃棄物等の減量化と資源化の促進



田園風景

第4節 都市防災

激甚化している水害や切迫する地震災害に対応するため、防災・減災、国土強靱化に向けた取組みの着実な推進と更なる強化が求められています。

また、水害については、大雨時における建築物や道路等の浸水被害の軽減を図るとともに、河川の氾濫による甚大な被害を防止するため、河川の流域全体を見通した流域治水による総合的かつ多層的な治水対策を推進する必要があります。

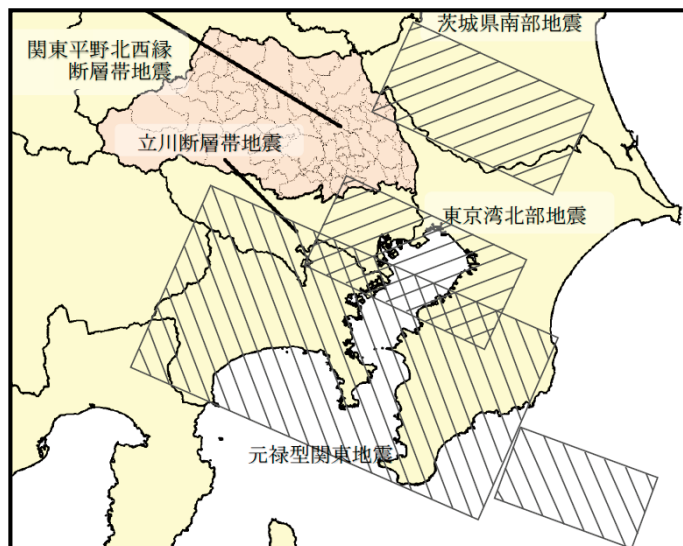
さらに、被災後、早期に的確な復興まちづくりに着手できるよう、復興体制や復興手順、復興における目標等の事前準備に取り組む必要があります。

【地震災害】

本市における切迫する地震災害については、東京湾北部地震（市内の最大想定震度：震度6弱）や茨城県南部地震等（市内の最大想定震度：震度6弱）の首都直下地震による地震被害が想定されており、建築物の倒壊や火災による延焼等の被害が想定されます。

- 建築物の耐震化と不燃化・難燃化
- ブロック塀の安全化
- 土地区画整理事業等による面的整備が行われていない既成市街地における防災性の向上
- 緊急車両等の進入が困難な幅員の狭い道路の拡幅
- 公園・ポケットパーク等の公共空地の確保
- 緊急輸送道路や主要な避難路となる幹線道路と橋りょうの長寿命化
- 飲料水や生活用水、消防水利の確保
- ライフライン施設の耐震化・安全化
- 避難所等の防災施設の充実と機能強化
- 自助・共助・公助による防災力の向上

【想定地震断層位置図】



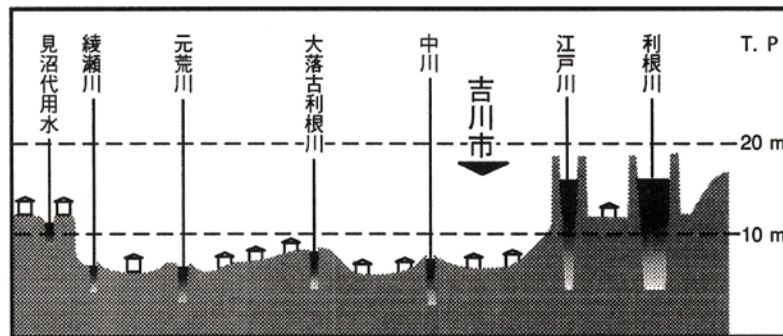
資料：「埼玉県地震被害想定調査報告書(平成26年3月)」

【水害】

本市における甚大な被害が想定される水害は、江戸川や中川等の氾濫による浸水被害が想定されており、江戸川における洪水浸水想定区域では、市街化区域の大部分の地域が浸水深 0.5m~3.0m（床上~1階軒下）、市街化調整区域の大部分は浸水深 3.0m~5.0m（2階以上）となっています。

また、本市を含む埼玉県東南部は、皿のような水の溜まりやすい地形と近年の急激な市街化の進行により保水・遊水機能が低下し、大雨等による浸水被害（内水被害）があります。

【流域地形図】

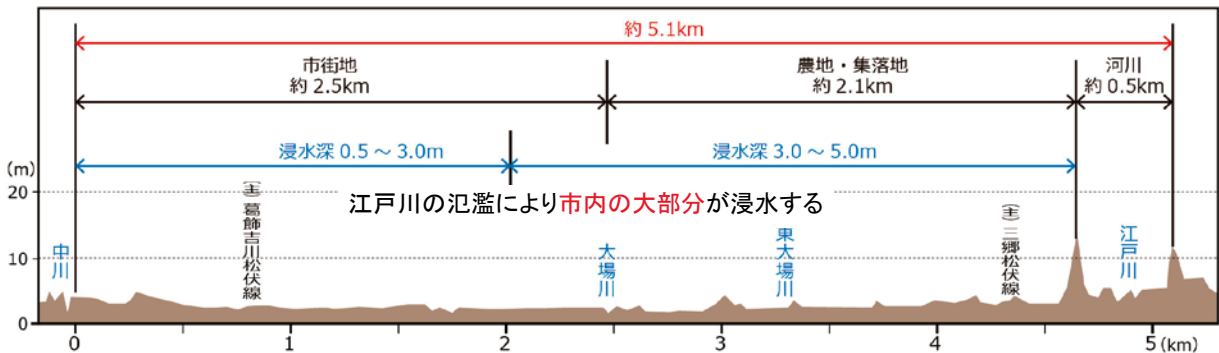
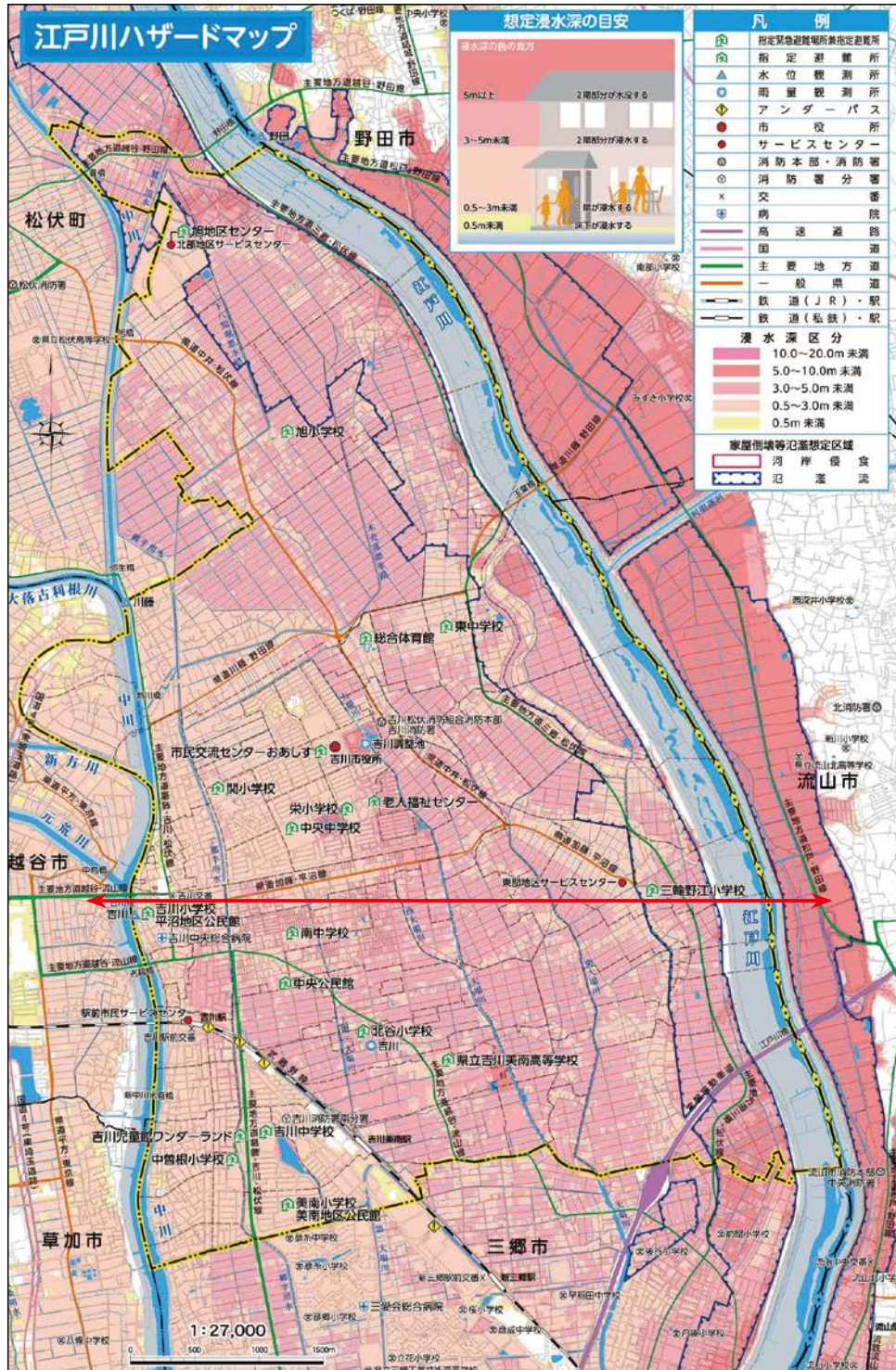


- 大雨時における速やかな内水の排除
- 河川の氾濫流による家屋倒壊の危険性のある区域への対応
- 河川、水路、調節池、調整池等の維持・整備
- 学校の校庭や木売落し排水路等を活用した雨水流出抑制施設の維持・整備
- 排水路や排水ポンプ等の排水施設の機能強化・長寿命化
- 洪水時における避難場所の充実
- 民間開発における雨水流出抑制施設の設置
- 市民・企業・事業所等による治水対策



江戸川の河川改修と河川防災ステーションの整備

【洪水ハザードマップ（江戸川）洪水浸水想定区域（想定最大規模）：令和4年3月作成】



電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成（縦横比=50：1）

序章
第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
資料編

第5節 都市景観

景観は、視覚でとらえる本市の姿であり、都市の魅力を高める重要な要素であるとともに、市民の本市に対する誇りや愛着心の向上につながる大切な要素であるため、地域の特色を活かした良好な景観形成が求められています。

- 江戸川・中川等が創り出す水辺景観の保全
- 吉川らしさを継承する田園と集落の屋敷林や社寺林等が織りなす田園風景の保全
- 統一感のある緑豊かな住宅地景観の保全・形成
- 鉄道駅周辺の魅力ある景観形成
- 緑豊かな工業地景観の保全・形成



南部地域の街並みと中央南部地域の田園風景



緑豊かな東埼玉テクノポリス